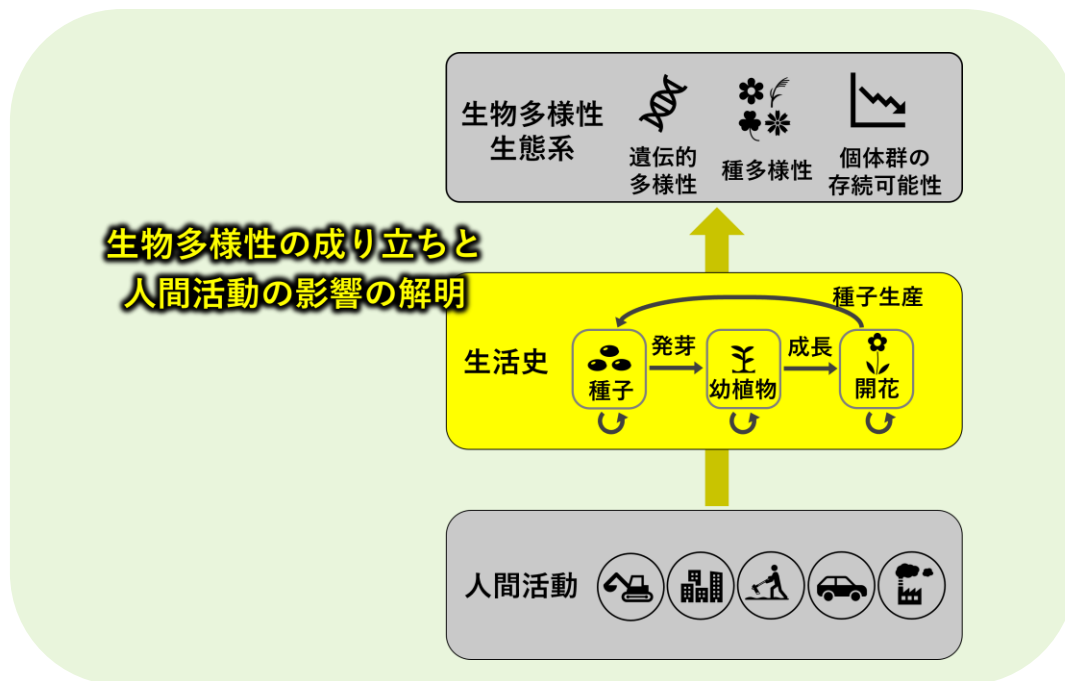


「生活史 Life history = 生物の一生」を ベースにした生物多様性研究



人間活動は、若い生育段階の死亡率を上げたり、繁殖時に生産する子供の数を減少させたりなど、生活史の様々な過程に影響を及ぼすことで、野生生物に影響しています。生活史（生まれてから死ぬまでの一連の生命活動）を調べることで、人間活動の作用機序がわかり、保全対策の立案にも貢献できます。

これまでの主な研究内容

土地造成による植生変化のメカニズム解明

造成履歴あり

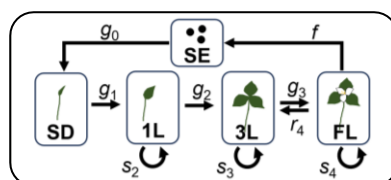


造成履歴なし



農地開発下での野生植物の遺伝的多様性の保全

農地開発により
分断された森林



化学物質の生態リスク評価に関する手法の検討

$$\begin{pmatrix} n_{1,t+1} \\ n_{2,t+1} \\ n_{3,t+1} \\ n_{4,t+1} \\ n_{5,t+1} \\ \vdots \\ n_{p,t+1} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} f_1 & f_2 & f_3 & f_4 & f_5 & \dots & f_p \\ g_1 & 0 & 0 & 0 & 0 & \dots & 0 \\ 0 & g_2 & 0 & 0 & 0 & \dots & 0 \\ 0 & 0 & g_3 & 0 & 0 & \dots & 0 \\ 0 & 0 & 0 & g_4 & 0 & \dots & 0 \\ \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & \dots & 0 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} n_{1,t} \\ n_{2,t} \\ n_{3,t} \\ n_{4,t} \\ n_{5,t} \\ \vdots \\ n_{p,t} \end{pmatrix}$$

数理モデルの 開発と予測

